

授業科目名	人間行動論	担当教員	法文学部 准教授 田中 一馬
開講年次・学期	1年前期	必修/選択	必修
開講形態	講義	時間数/単位数	2単位
<b>授業概要</b>			
<p>欧米における倫理学の諸理論を概観します。</p> <p>わたしたちは、社会生活を営む者としてすでに何らかの倫理観を持ち合わせ、それに基づいて生きています。自分が関わりを持つ人々の間で倫理観にさほどの違いがなければ、自分の倫理観について改めて反省する機会はないかもしれません。しかし、実際は多かれ少なかれ、倫理観の相違を意識する場合があります。</p> <p>また、これまで自分が直面したことのないような状態に身を置くと、持ち合わせている倫理観に基づくだけでは対応しきれないことがあるかもしれません。倫理学は一つには、これらの場合に適切な行動の指針を提供することを目的としています。</p> <p>しかし、倫理学上の諸見解は、それぞれ一定の前提に立脚しつつその主張を構築しており、無条件の正しさを持つわけではありません。個別の見解が前提している事柄は何か、そしてそこから一つの見解がどのような論理によって構築されているのか、などを客観的に理解することもまた、倫理学の目的の一つなのです。</p> <p>授業では、倫理学が有するこれら二つの目的に十分留意しながら、受講する人が自ら倫理的思考を展開してもらえよう、話題を提示しようと考えています。</p>			
<b>G I O (一般目標)</b>			
<ol style="list-style-type: none"> <li>1 欧米における倫理学の全体像（とりわけその論理構造や主張）を理解する。</li> <li>2 倫理的な正しさやよさについて、自ら多面的に考える力を身につける。</li> </ol>			
<b>S B O (行動目標)</b>			
<ol style="list-style-type: none"> <li>1 倫理学を構成するさまざまな立場の区分について、説明することができる。</li> <li>2 倫理学を構成するさまざまな立場が拠って立つ前提について、説明することができる。</li> <li>3 倫理学を構成するさまざまな立場の特徴について、説明することができる。</li> <li>4 学んだ倫理的な見地をもとに、自分自身の倫理観を批判的に分析することができる。</li> <li>5 倫理的な見地から検討を要すると思われる具体的な問題について、考察することができる。</li> </ol>			
<b>成績評価の方法</b>			
<p>期末に試験を実施します（これが100点満点です）。</p> <p>授業時に発言を求めることがあります。自発的な発言は、上記100点満点とは別に、極めて高く評価します（発言をなさなくてもマイナスにはなりません）。</p> <p>その他成績評価の詳細（試験の採点基準など）については、第1回目の授業で説明します。</p>			
<b>教科書・参考書・視聴覚・その他の教材</b>			
<p>教科書 特に指定しません。プリントを適宜配付します。</p> <p>参考書 伊勢田哲治『動物からの倫理学入門』名古屋大学出版会、2008年、2940円 その他、授業中に適宜紹介します。</p>			
<b>オフィスアワー</b>			
<p>毎週火曜日の授業直後でしたら、教室で時間が取れます。また（オフィスアワー本来の趣旨からは外れますが）、前もって申し込んでいただければ、毎週金曜日のお互い都合のつく時間帯に、松江キャンパス（私の研究室など）でお会いします。</p> <p>授業に対するご質問などは、メールでお寄せ下さい。 kazuma@soc.shimane-u.ac.jp までどうぞ。</p>			